

各関係機関長 殿  
病害虫防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
病害虫防除所長  
(公印省略)

平成23年度農作物病害虫発生予察情報について

平成23年度農作物病害虫発生予報第7号を発表したので送付します。

平成23年度農作物病害虫発生予報第7号

平成23年8月16日  
徳島県

I. 果樹  
カンキツ

黒点病

1) 予報内容

発生量 平年並(前年並)で、発生程度は「少」

2) 予報の根拠

(1) 8月前半の巡回調査(スダチ)では発生を認めていない(平年同時期は発生圃場率が6.8%, 果実発病度が0.3)。

(2) 8月12日発表の1ヶ月予報では、天気は晴れの日が多く、気温、降水量と日照時間は平年並の確率がいずれも40%と予想されており、やや発生抑制的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

(1) 枯れ枝を極力除去する。また、せん定枝は園外に持ち出して処分し、病原菌密度の低下に努める。

ミカンハダニ

1) 予報内容

発生量 平年よりやや多く(前年並)、発生程度は「少～中」

2) 予報の根拠

(1) 8月前半の巡回調査では、発生圃場率が90.0%, 寄生葉率が13.5%であり、平年(56.9%, 9.1%)と比べてやや発生が多い。

(2) 8月12日発表の1ヶ月予報では、天気は晴れの日が多く、気温、降水量と日照時間は平年並の確率がいずれも40%と予想されており、やや発生助長的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

(1) 多発すると防除が困難になるので初期防除に努める。防除の際には、十分な量の薬液を散布する。

(2) ミカンハダニは薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統薬剤の連用は避ける。

ナシ

うどんこ病

1) 予報内容

発生量 平年並(前年並)で、発生程度は「少」

2) 予報の根拠

(1) 8月前半の巡回調査では、発生圃場率が37.5%, 葉の発病度が0.4であり、ほぼ平年(32.8%, 1.4)並の発生である。

(2) 8月12日発表の1ヶ月予報では、天気は晴れの日が多く、気温、降水量と日照時間は平年並の確率が

いずれも40%と予想されており、やや発生抑制的な気象条件である。

3)防除上注意すべき事項

(1) 早期落葉すると樹勢を弱めるので、発生の多い園では収穫後に防除を行なう。

ハダニ類

1) 予報内容

発生量 平年よりやや多く(前年より多い)、発生程度は「中」

2) 予報の根拠

(1) 8月前半の巡回調査では、発生圃場率が87.5%、寄生葉率が12.1%であり、平年(27.2%、6.2%)と比べてやや発生が多い。

(2) 8月12日発表の1ヶ月予報では、天気は晴れの日が多く、気温、降水量と日照時間は平年並の確率がいずれも40%と予想されており、やや発生助長的な気象条件である。

3)防除上注意すべき事項

(1) 発生の多い園では収穫後に防除を行なう。

(2) 同一系統薬剤の連用は薬剤抵抗性獲得の恐れがあるので避ける。

果樹共通

果樹カメムシ類(ツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシ等)

1) 予報内容

発生量 平年より少なく(前年より少ない)、発生程度は「少」

2) 予報の根拠

(1) ツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシともに、予察灯への誘殺虫数は平年より少なめで推移している。

[ツヤアオカメムシの誘殺数]

月半旬	勝					清					田丁				
	2011年	2010年	2009年	2008年	平年	2011年	2010年	2009年	2008年	平年	2011年	2010年	2009年	2008年	平年
7.4	4	74	41	9	42	0	10	7	1	13					
7.5	3	61	43	17	27	1	9	1	1	9					
7.6	16	55	48	104	39	0	2	1	11	9					
8.1	9	29	45	240	55	0	14	1	12	6					
8.2	9	12	70	348	70	2	8	1	14	7					
8.3		26	71	273	69		9	1	10	6					

[チャバネアオカメムシの誘殺数]

月半旬	勝					清					田丁				
	2011年	2010年	2009年	2008年	平年	2011年	2010年	2009年	2008年	平年	2011年	2010年	2009年	2008年	平年
7.4	6	92	18	9	50	14	32	6	9	53					
7.5	4	94	17	8	58	6	22	10	8	40					
7.6	13	89	41	20	66	1	28	15	8	39					
8.1	7	84	66	67	74	2	33	11	10	29					
8.2	4	27	178	107	84	1	12	16	4	25					
8.3		57	85	219	126		18	10	15	20					

(2) 8月12日発表の1ヶ月予報では、天気は晴れの日が多く、気温、降水量と日照時間は平年並の確率がいずれも40%と予想されており、やや発生助長的な気象条件である。

3)防除上注意すべき事項

(1) 果樹園周辺の雑木林から成虫が飛来するので、園内を巡回し飛来に注意するとともに、飛来を認めたら早急に防除を行なう。

(2) 果樹カメムシ類は夜行性なので、薬剤の散布は夕方か早朝に実施する。

(3) 移動性が大きいので、広域一斉防除により防除効果の向上に努める。

## II. その他

- 1) 防除にあたっては、圃場をよく観察し、適期を逃さないようにして下さい。
- 2) 薬剤の使用にあたっては必ず使用基準を遵守し、周辺作物等へ飛散しないようにして下さい。

### 発生量の表示

発生程度：甚>多>中>少>無

発生量：多い>やや多い>並>やや少ない>少ない

徳島県立農林水産総合技術支援センター病害虫防除所  
U R L : <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/boujyosyo/>

○病害虫の発生予察情報, 発生状況, 防除法等をお知らせしています。